

診療科
血液内科

疾患名
フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病(Ph+ALL)

レジメ名
JALSG Ph+ALL202(寛解導入療法)

投与間隔
1コース 9週間 計 1コース

商品名	一般名	略号	投与量	投与方法	投与時間	投与日								
						day1	day2	day3	day8	day15	day22	day29	day63	
エンドキサン	シクロホスファミド	CPA	1200mg/m ² /day	div	3hrs	●								
ダウノマイシン	ダウノルビシン	DNR	60mg/m ² /day	div	1hr	●	●	●						
オンコビン	ビンクリスチン	VCR	1.3mg/m ² /day	iv		●			●	●	●			
プレドニゾロン	プレドニゾロン	PSL	60mg/m ² /day	po		← 21日間 →								
グリベック	イマチニブ		600mg/body/day	po		← 56日間 →								
メソトレキセート	メソトレキセート	MTX	15mg/body/day	it								●		
キロサイド	シタラビン	Ara-C	40mg/body/day	it								●		
デカドロン	デキサメタゾン	DEX	4mg/body/day	it								●		

備考
 グリベックの減量、休止、中止基準(寛解導入療法期)
 血液毒性が発生した場合
 1)原則として血液毒性によるグリベックの減量、休止は行わず、必要に応じて輸血、血小板輸血、支持療法(G-CSF投与を含む)にて対応する。
 2)3週間以上続くGrade4の好中球減少がみられる場合は、グリベックの休止を考慮する。
 Grade3/4の非血液毒性が発現した場合
 1)Grade1以下に改善するまでグリベックの投与を休止し、改善後、600mg/dayにて投与を再開する。
 2)再開後に症状の再発がみられた場合は、同様にGrade1以下に改善するまで投与を休止し、改善後、減量して再開する。

登録年月日
2008年 9月22日

登録No.
No. 183-1

